

司法試験・予備試験の概要

司法試験

- 法曹になろうとする者に必要な学識・応用能力の有無を判定する試験
- 試験内容
 - ・ 短答式試験
 - ・ 論文式試験
- 受験資格
 - ・ 法科大学院修了者
 - ・ 予備試験合格者
- R3実績
 - ・ 受験者数 3, 424人
 - ・ 合格者数 1, 421人

予備試験

- 法科大学院を経由しない者にも法曹資格取得の途を開くために設けられた試験
- 試験内容
 - ・ 短答式試験
 - ・ 論文式試験(※短答式合格者のみ受験)
 - ・ 口述試験(※論文式合格者のみ受験)
- 受験資格
 - ・ 制限なし
- R3実績

・ 受験者数	11, 717人
・ 短答式合格者数	2, 723人
・ 最終合格者数	467人

課題（デジタル化の必要性）

- 試験に関する課題
 - ・ 受験者・試験関係者の負担
- 受験手続等に関する課題
 - ・ 出願等の手続、受験票の交付等の手続は、郵送のみ
 - ・ 受験手数料の納付は、収入印紙のみ

課題解消のため、デジタル化を検討する必要がある

課題解消に向けた取組（デジタル化に向けた検討）

- ICTの活用について検討
- 受験手続等のオンライン化について検討
(受験手数料の納付方法の見直しを含む)

 受験者の利便性向上、試験関係者の負担軽減等を図る